



2009年12月9日

PRESS RELEASE

早稲田大学グローバルヘルス研究所/Child AFRICA 共同トークセッション

「MISIA&信藤三雄 ART・MUSIC を通して世界の子どもの命を語る」

日本を代表するアーティスト MISIA とアートディレクター信藤三雄が、自らの音楽、アート作品を語る。

2005年にブームを引き起こしたホワイトバンドキャンペーンとその後の反応を、当時の参加者としてどのように感じたのか。MISIAさんが設立した、Child AFRICAのこと。日本国内でメッセージを発信する難しさと、その意義。今回のイベントでは、信藤三雄氏とともに、これまでの作品を振り返り、「伝えていく」活動の最前線ではどのような楽しみが、また難しさがあるのかを語ります。そして、「伝えた」先に、どんなアクションを起こしていけるのか、学生の皆さんとともに考えます。

- 主催: 早稲田大学グローバルヘルス研究所、日米研究機構グループ C、Child AFRICA
 - 共催: 早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター(WAVOC)
 - 日時: 2009年12月15日(火) 17:15~18:45 (開場: 16:30~)
 - スピーカー: MISIA (アーティスト/Child AFRICA Ambassador)
信藤三雄(アートディレクター/映像ディレクター/フォトグラファー、Child AFRICA 代表)
勝間 靖(早稲田大学グローバルヘルス研究所所長)
- 総合司会: 長島美紀(Child AFRICA 事務局長/WAVOC 客員講師)
- 会場: 早稲田大学早稲田キャンパス 8号館 1階 106教室
〒169-8050 新宿区西早稲田 1-6-1 <http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html>
 - 会場へのアクセス:
JR 山手線・西武線・東西線「高田馬場駅」より徒歩 20分または学バス「早大正門行」終点下車
東京メトロ東西線「早稲田駅」より徒歩 5分
 - 対象: 学生、教職員

MISIA

<http://www.misia.asia>

日本を代表する女性アーティスト。1998年「つつみ込むように...」でデビュー以来、その5オクターブの音域と圧倒的な歌唱力により、幅広い層から高い評価を得てきた。ジャンルを越えたこれまでに発表した作品のトータルセールスは3000万枚以上に及ぶ。その実力は海外でも高く評価され、2008年にはアジア13都市でアリーナツアーを実施している。近年では、社会貢献活動にも力を入れており、アフリカの子どもの支援を行う任意団体「Child AFRICA(チャイルド・アフリカ)」を中心に活動している。

信藤 三雄(しんどう・みつお)

<http://www.ctpp.org>

アートディレクター/映像ディレクター/フォトグラファー、Child AFRICA 代表。1985年、コンテムポラリー・プロダクション設立。松任谷由実のアルバムジャケットの制作を機に本格的にジャケットデザインを始める。以降、ピチカート・ファイヴ、Mr. Children、MISIA、元ちとせ、GLAYなど、これまで手掛けたレコード&CDジャケット数は1000枚にせまる。ソーシャルワーク系では、05年「ほっとけない世界のまじしさ」キャンペーン(ホワイトバンド・プロジェクト)、プロジェクト・レッド(モトローラ)等では、映像ディレクター、アートディレクションを務めている。

Child AFRICA(チャイルド・アフリカ)

<http://child-africa.org>

世界中の子どもたちの教育支援を目的に、2008年8月、MISIAの提唱で設立された団体。これまでに、ユニセフの「子どもにやさしい学校」を紹介する「Child-Friendly Project」や、マラウイの子どもに蚊帳や教材を送る「Love is Free Campaign」を実施。2009年9月からは、Child AFRICA スペシャルサポーターであるウルトラマンとともに、「地球の子どもたちを守る」ことをテーマに掲げた「星空の警備隊」を実施中。

お問い合わせ先: Child AFRICA 事務局(担当: 粟村)

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-14-13 TEL&FAX: 03-5414-7778 info@child-africa.org